

戸田市 施策評価シート

作成日	平成28年06月28日	作成者名	渡邊 昌彦	評価者名	栗原 誠
-----	-------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	市民生活部・防犯くらし交通課
分野	03 防犯	関係課	危機管理防災課・危機管理防災課
施策	32 防犯体制の強化		
施策の目的	市民の誰もが安全で安心して暮らせるよう、地域と連携した防犯対策を推進するとともに、防犯体制の強化を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	自転車盗難被害防止キャンペーン活動の実施
取り組み②	自主防犯パトロール支援の充実
取り組み③	「とだピースガードメール」の登録方法の見直し及び広報活動
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H22	H23	H24	H25	H26	H27
犯罪発生率	埼玉県内における犯罪発生率の順位 (警察本部発表)	位	11以下	7	5	10	5	3	6
パトロール支援	自主防犯パトロール支援割合の維持	%	100	100	100	100	100	100	100
「とだピースガードメール」加入者数	「とだピースガードメール」への加入者数	人	1,800	1,241	2,008	2,330	4,051	4,454	4,885
その他施策の取組事項に係る成果	自主防犯パトロールの支援割合は100パーセントを維持しており、とだピースガードメールの加入者数も331名増加し、4,885名となった。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	平成27年の犯罪発生件数は、ホットスポットパトロール、ポスター掲示による自転車盗対策を進めた結果、前年比-387件と大幅な減少につながったが、犯罪発生率はワースト6位にとどまっている。また、認知件数の約4割が自転車盗であることから、今後更に自転車盗抑止に向けた対策を取る必要がある。	対応策	委託警備員による犯罪多発場所を重点的にパトロールするホットスポットパトロールを継続すると共に、集合住宅の管理会社にポスターの掲示依頼をするなど、自転車盗の抑止に努める。 また、警察から受けた犯罪情報や振り込め詐欺予兆電話を戸田ピースガードメールにより迅速に市民に配信する。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	平成27年に、パトロール方法の見直しやポスター掲示、防犯カメラの設置などの取り組みを実施した結果、刑法犯認知件数も大幅に減少した。また、とだピースガードメールの新たな加入者数も順調に増加し、市民に迅速な情報提供をしている。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	平成27年度に市内3駅を中心に設置した防犯カメラの効果などを検証し、今後の事業方針について検討して行きたい。また、ドライブレコーダーの搭載について関係事業者に協力を求め、同時に広く市民へ周知し、事業の拡大を図りたい。

(評価者コメント)

戸田市は、警察官OB等による青色回転灯車両によるパトロール、委託警備員等による自主防犯パトロール支援など様々な防犯活動を積極推進した結果、過去10年間に亘り、刑法犯認知件数を減少させることができた。今後も、委託警備員等によるパトロール方法について研究し、効果的な犯罪抑止方法を検討して行くとともに、設置している防犯カメラの検証や振り込め詐欺抑止に向けたとだピースガードメールによる迅速な予兆情報の配信などを実施し、さらに事業効果の向上を図りたい。

戸田市 施策評価シート

作成日	平成28年06月28日	作成者名	渡邊 昌彦	評価者名	栗原 誠
-----	-------------	------	-------	------	------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果										★事務事業の方向性			H 29 予 算 額	事業費 うち 一般財源		
		事業コード	事業区分	H27決算額		評価結果								事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度			コメント	
				H28予算額	H29計画額	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性									
		事業内容		事業費	うち一般財源							事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度	コメント					
				人件費																
03 不当要求行為等対策費 (危機管理防災課)																				
	01	不当要求行為等対策費		4,842													不当要求事案に対し、組織的な対応を行うため、指導・助言を継続する。	0		
		01	02	01	24	03	01							1	B	B	B	B		
		各課の不当要求行為等に対し指導・助言を行う。		5,477																
				3,781																
01 防犯対策事業 (防犯くらし交通課)																				
	01	防犯対策事業		10,566													自主防犯パトロール活動支援 (2,669千円)	0		
		01	02	01	23	01	01							1	A	B	A	A		
		一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪発生件数を減少させる。		11,512																
				11,488																
				7,219																
	02	犯罪抑止対策事業		64,560													3駅を中心とした場所に防犯カメラ設置5年間のリース方式 (H27・2,800千円)	0		
		01	02	01	23	01	02							2	O	A	B	A	A	
		安全ステーション2カ所には、それぞれ警察官OB1名を		70,462																
				67,422																
				2,750																
	03	防犯灯事業		5,259													L E D防犯灯1771基 (97%)を交換済みで、今年度以降は維持管理費として継続	0		
		01	02	01	23	01	03							3	A	A	A	B		
		市民等の要望等を基にし、防犯上危険と認められる箇所に		6,694																
				6,694																
				6,694																
				2,750																
				計 (千円)	事業費	85,227	H27決算額	H28予算額	H29計画額	H29予算額										
					うち一般財源	82,162														

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
7 平成29年度で終了 8 平成28年度で終了 9 平成27年度で終了